



CHAPTER 3

Cisco Unified Communications Manager サーバアドレスとユーザ名の自動的な入力

- 「配布オプション」 (P.3-1)
- 「レジストリの値の名前の場所」 (P.3-2)
- 「Click to Call のレジストリの値の名前」 (P.3-2)
- 「レジストリ キー プッシュを使用したサーバアドレスの配布」 (P.3-5)
- 「Microsoft Active Directory のグループ ポリシー機能を使用したサーバアドレスの配布」 (P.3-6)

配布オプション

次のいずれかのオプションを使用すると、Cisco Unified Communications Manager サーバアドレスを Click to Call ユーザ ベースに配布できます。

- Cisco Unified Communications Manager CCMCIP と WebDialer サービスアドレスが記載されたレジストリ ファイルを作成し、リモート デスクトップ管理ツールを使用して、このレジストリ ファイルを Click to Call ユーザ ベースにプッシュします。これを行うには、Altiris Deployment Solution、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのソフトウェア管理システムを使用できます。



(注) レジストリ ファイルでは、クライアント コンピュータからユーザ名値の検出を有効にすることもできます。ユーザ名の検出を有効にすると、Click to Call によって、アプリケーションのユーザ名フィールドに、ユーザがクライアント コンピュータへのログインに使用するユーザ名値が入力されます。



(注) CCMCIP は、クラスタ内のすべての Cisco Unified Communications Manager で稼働するサービスです。設定する CCMCIP サービス アドレスは、クラスタ内の任意の Cisco Unified Communications Manager ノードの IP アドレスにできます。ただし、パブリッシャ ノードの不要なトラフィックのルーティングと、パブリッシャ ノードの過負荷の可能性を回避するために、CCMIP サービス アドレスの加入者ノードの IP アドレスを設定することを推奨します。

- Click to Call アプリケーションでユーザの Cisco Unified Communications Manager サーバ アドレスを自動的に設定するには、Microsoft Active Directory のグループ ポリシーを使用します。

■ レジストリの値の名前の場所

- ユーザに Cisco Unified Communications Manager サーバ アドレス情報を提供します。その場合、各ユーザがアプリケーションのインストール後に、Click to Call の [設定 (Preferences)] 画面で Cisco Unified Communications Manager サーバ アドレスを手動で入力する必要があります。

レジストリの値の名前の場所

手順

-
- ステップ 1** 次のコマンドを実行して、レジストリ エディタ アプリケーションを開始します。
- regedit**
- ステップ 2** レジストリ キーの HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Policies¥Cisco¥Unified Communications が存在していない場合は、HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Policies key に、次のキーを作成します。
1. Cisco
 2. Cisco¥Unified Communications
- ステップ 3** 必要なレジストリの値の名前を HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Policies¥Cisco¥Unified Communications key に作成します。
- 表 3-1 に使用可能なレジストリの値の名前を示します。値の名前は文字列値として作成します。
-

Click to Call のレジストリの値の名前

表 3-1 に記載されているレジストリの値の名前は、すべて文字列値です。

表 3-1 Click to Call のレジストリの値の名前

値の名前	説明
CCMCIPServer	Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレスまたはサーバ名を入力します。
WebDialerServer	CCMCIP サービスと異なるサーバで Cisco WebDialer サービスが実行中の場合、WebDialer サービスを稼働している Cisco Unified Communications Manager のサーバ名を入力します。
	(注) サーバ名は、Cisco Unified Communications Manager 証明書の名前と一致する必要があります。詳細については、「 Cisco Unified Communications Manager 証明書のインストール (P.5-4) 」を参照してください。

表 3-1 Click to Call のレジストリの値の名前 (続き)

値の名前	説明
UseDefaultWindowsUserName	<p>クライアント コンピュータからの Click to Call のユーザ名値の検出を有効または無効にするには、この値を次のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 : Click to Call のユーザ名は入力されません。 1 : Click to Call のユーザ名はクライアント コンピュータから検出され、[Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスの [ユーザ名 (User Name)] フィールドに入力されます。
OverrideLocalCCMCIPServerSetting	<p>次のいずれかの値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 : ユーザはアプリケーションの [CCMCIP サービス (CCMCIP Service)] フィールドを編集できます。 1 : ユーザは [CCMCIP サービス (CCMCIP Service)] フィールドを編集できません。
OverrideLocalWebDialerServerSetting	<p>次のいずれかの値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 : ユーザはアプリケーションの [WebDialer サービス (WebDialer Service)] フィールドを編集できます。 1 : ユーザは [WebDialer サービス (WebDialer Service)] フィールドを編集できません。
OverrideLocalUsernameSetting	<p>次のいずれかの値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 : ユーザは、[Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスの [ユーザ名 (User Name)] フィールドを編集できません。これに 0 を指定し、UseDefaultWindowsUserName レジストリの値の名前に 1 を指定すると、[ユーザ名 (User Name)] フィールドは Windows ユーザ名に設定され、ユーザはこれを編集できません。 1 : ユーザは、[Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスの [ユーザ名 (User Name)] フィールドを変更できます。
UseEncryptedCredentials	<p>Cisco Unified Communications Manager のパスワードの暗号化方法を指定します。次のいずれかの値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 : パスワードは、base-64 符号化の形式で、難読化して保存されます。この Click to Call のインストールを以前のインストールおよび Phone Designer アプリケーションと互換性があるようにするには、この値を指定します。 1 : パスワードは保存の前に暗号化されます。

表 3-1 Click to Call のレジストリの値の名前 (続き)

値の名前	説明
ResetProtocolHandlers	<p>Click to Call 以外のアプリケーションが、それ自身を電話プロトコルへの通話を処理するデフォルトアプリケーションに設定できるかどうかを指定します。次のいずれかの値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 : 電話プロトコルの制御用に登録されているすべてのアプリケーションが、電話プロトコルをリセットできます。 1 : Click to Call の開始時に Click to Call への電話プロトコルをリセットできるのは、clicktocall.exe のみです。
DisableCommunicator	<p>Click to Call の communicator.exe プロセスの実行を許可するかどうかを指定します。Click to Call には communicator.exe プロセスが含まれています。これは、Microsoft Office Communicator がインストールされているシステムとの問題を回避するために使用されます。</p> <p>Microsoft Office Communicator は他の Communicator プロセスが稼働しているかどうかを確認し、稼働している場合、Microsoft Office Communicator は起動しません。SharePoint スマート タグを Internet Explorer で動作させるには、communicator.exe プロセスが実行している必要があります。Microsoft Office Communicator が稼働していない場合、Click to Call の communicator.exe プロセスによって SharePoint スマート タグを動作させることができます。</p> <p>次のいずれかの値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 : Click to Call の communicator.exe の実行を許可します。 1 : Click to Call の communicator.exe の実行を許可しません。ユーザ ベースに Microsoft Office Communicator がインストールされている場合は、この値を入力します。
DisplayPreferencesOnStartup	<p>Click to Call の設定アプリケーションを起動したときに、[Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスを自動的に表示するかどうかを指定します。</p> <p>次のいずれかの値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 : [Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスを表示しません。 1 : Click to Call の設定アプリケーションを起動したときに、[Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスを表示します。

表 3-1 Click to Call のレジストリの値の名前 (続き)

値の名前	説明
AllowSystemTray	[Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスを閉じたときに、Click to Call を Windows のタスクバーに追加するかどうかを指定します。 次のいずれかの値を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 0: Click to Call を Windows のタスクバーに追加しません。[Click to Call の設定 (Click to Call Preferences)] ダイアログボックスを閉じると、Click to Call 設定アプリケーションが終了します。 1: Click to Call を Windows のタスクバーに追加します。
¥Dial Rules¥OutsideLine	外線への接続に必要な数字 (9 など) を入力します。
¥Dial Rules¥InternationalPrefix	国外への通話に必要な国際プレフィクス (00 など) を入力します。
¥Dial Rules¥DialingCodeConfigurable	次のいずれかの値を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 0: ユーザは、このアプリケーションでダイヤル アクセス設定を上書きできません。 1: ユーザは、このアプリケーションでダイヤル アクセス設定を上書きできます。

レジストリ キー プッシュを使用したサーバアドレスの配布

始める前に

この手順では、レジストリ キーを Click to Call ユーザ ベースにプッシュするためにリモート デスクトップ管理ツールが必要になります。

手順

ステップ 1 テキスト エディタを使用して、**CiscoUnifiedCommunicationsWidgetsConfig.reg** というレジストリ ファイルを作成します。

ステップ 2 次のテキストを **CiscoUnifiedCommunicationsWidgetsConfig.reg** に追加します。

```
Windows Registry Editor Version 5.00
```

```
[HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Policies¥Cisco]
```

```
[HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Policies¥Cisco¥Unified Communications]
```

```
"CCMCIPServer"="NY CUCM"
```

```
"WebDialerServer"="NY WEBDIALER"
```

```
"OverrideLocalCCMCIPServerSetting"="0"
```

```
"OverrideLocalWebDialerServerSetting"="0"
```

```
"UseDefaultWindowsUserName"="1"
```

```
"UseEncryptedCredentials"="0"
```

```
"ResetProtocolHandlers"="1"
```

```
"DisableCommunicator"="0"
```

```
"DisplayPreferencesOnStartup"="0"
```

```
"AllowSystemTray"="1"
```

```
[HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Policies¥Cisco¥Unified Communications¥Dial Rules]
```

```
"OutsideLine"="9"
```

```
"InternationalPrefix"="00"
"DialingCodeConfigurable"="1"
```



(注) テキストの 2 行目と 4 行目は、テキストを読みやすくするために空白にしておいてください。

- ステップ 3 CiscoUnifiedCommunicationsWidgetsConfig.reg で、表 3-1 で説明されているようにレジストリの値の名前に値を入力します。
- ステップ 4 CiscoUnifiedCommunicationsWidgetsConfig.reg ファイルを保存します。
- ステップ 5 CiscoUnifiedCommunicationsWidgetsConfig.reg を Click to Call ユーザ ベースにプッシュするには、リモート デスクトップ管理ツールを使用します。
- ステップ 6 アプリケーション インストーラ ファイルをダウンロードします。
- ステップ 7 インストーラ ファイルを Click to Call ユーザ ベースに配布します。

次の作業

- 「インストーラ パッケージのダウンロード」 (P.5-1)

関連トピック

- 「[ダイヤル規則 (Dialing Rule)] タブの非アクティブ化」 (P.4-2)

Microsoft Active Directory のグループ ポリシー機能を使用したサーバアドレスの配布

Click to Call アプリケーションでユーザの Cisco Unified Communications Manager サーバアドレスを自動的に設定するには、Microsoft Active Directory のグループ ポリシー機能を使用できます。グループ ポリシー機能を使用すると、現在のユーザのレジストリに書き込まれるレジストリ設定が入った Group Policy Object (GPO; グループ ポリシー オブジェクト) を作成できます。Microsoft Active Directory によって、この GPO が、GPO に関連付けられた組織ユニットまたはドメインに自動的に配布されます。

Click to Call アプリケーションの場合は、Cisco Unified Communications Manager サーバアドレス設定が入った GPO を作成します。この GPO が自動的に配布されると、Cisco Unified Communications Manager サーバアドレスは、現在のユーザのレジストリに書き込まれます。サーバアドレスは、ユーザのログ印字、またはユーザが Microsoft Active Directory から次の自動更新を受信したときに、自動的に設定されます。

この項には、Click to Call アプリケーションの GPO を設定するために必要なタスクの概要のみが記載されています。Microsoft Active Directory で GPO を設定するための前提知識があることを想定しています。

Active Directory での GPO の設定に関する予備知識がない場合は、次の URL にある Active Directory のマニュアルを参照してください。

- Active Directory 2003: <http://technet2.microsoft.com/windowsserver/en/technologies/featured/ad/default.aspx>
- Active Directory 2008: <http://technet2.microsoft.com/windowsserver2008/en/library/>



(注) GPO を設定するための GUI は、Active Directory バージョン 2003 とバージョン 2008 で異なります。

始める前に

ソフトウェア ダウンロード サイトで、Cisco Unified Communications Widgets ページの「Voice Software Downloads」セクションを選択して、**Click to Call.adm** ファイルを見つけてダウンロードします。ファイルが見つからない場合は、シスコの代理店に要求してください。ソフトウェア ダウンロード サイトの URL は次のとおりです。

<http://tools.cisco.com/support/downloads/go/Model.x?mdfid=282281061>

手順

- ステップ 1** 「ClicktoCall」などの名前で、Click to Call アプリケーションの GPO を作成します。Cisco Unified Communications Manager サーバごとに1つの GPO を作成する必要があります（複数のサーバを管理している場合）。
- ステップ 2** グループ ポリシー オブジェクト エディタで ClicktoCall GPO を開きます。
- ステップ 3** ClicktoCall GPO に管理テンプレート **Click to Call.adm**（アプリケーション インストーラのダウンロード時に提供されます）を追加します。
- ステップ 4** 管理テンプレートが格納されている場所（この場所は、使用している Active Directory のバージョンによって異なります）にある、Cisco Unified Communications > Click-To-Call フォルダで WebDialer サービスのグループ ポリシー項目を選択します。
- ステップ 5** [Enabled] オプションを選択して、WebDialer サービスのグループ ポリシー項目を有効にします。
- ステップ 6** WebDialer サービスのグループ ポリシー項目の次のプロパティを設定します。
 - Web Dialer サーバ名または IP アドレスを入力します。
 - [Override local setting] チェックボックスをオンにします。この設定は、ユーザのローカル マシンで手動で設定した前の Web Dialer サーバ名または IP アドレス値を上書きするために使用されます。
- ステップ 7** 管理テンプレートが格納されている場所（この場所は、使用している Active Directory のバージョンによって異なります）にある、Cisco Unified Communications > Click-To-Call フォルダでデバイス クエリー サービスのグループ ポリシー項目を選択します。
- ステップ 8** [Enabled] オプションを選択して、デバイス クエリー サービスのグループ ポリシー項目を有効にします。
- ステップ 9** デバイス クエリー サービスのグループ ポリシー項目の次のプロパティを設定します。
 - デバイス クエリー サーバ名または IP アドレスを入力します。
 - [Override local setting] チェックボックスをオンにします。この設定は、ユーザのローカル マシンで手動で設定した前の Cisco Unified Communications Manager サーバ名または IP アドレス値を上書きするために使用されます。
- ステップ 10** ClicktoCall GPO を最上位の組織ユニット、または Click to Call ユーザ ベース全体が含まれるドメインに適用します。
- ステップ 11** セキュリティ グループ フィルター機能を使用して、必要に応じて、組織ユニット内のユーザのサブセット、組織ユニット、またはドメインに対する ClicktoCall GPO の関連付けを改良します。

次の作業

- 「インストーラ パッケージのダウンロード」(P.5-1)

■ Microsoft Active Directory のグループ ポリシー機能を使用したサーバ アドレスの配布